

ヴィエトナム国を含むマレー半島周辺の港湾の配置状況は、図４－１０のとおりである。ヴィエトナム国の大きな海港は、北部にハイフォン（Hai Phong）港、中部にダナン港及び南部にサイゴン港がある。

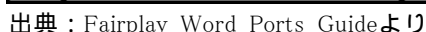


図 4 - 10 マレー半島の港灣

　　ヴェトナム北部の主要な海港としては、ハイフォン（Hai Phong）港、ホンゲイ（Hon Gay）港、カンファ（Campha）港、レモン（Le Mon）港及びネティン（Nghe Tinh）港である。以降、それぞれの港湾の概要を述べる。

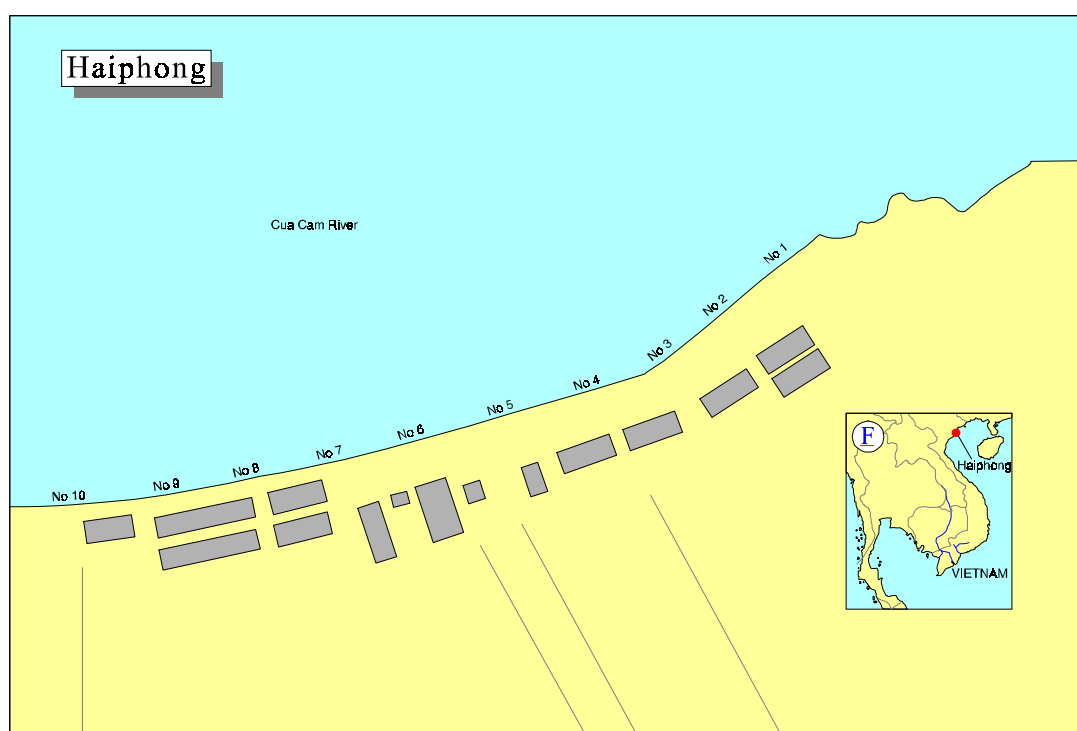
ハイフォン（Hai Phong）港は、現在、北部唯一で最大の海港である。主要輸出品は、米、ゴム、モロコシ、スズ、その他鉱産品、セメント、材木、主要輸入品は、機械類、石油製品、ワイン、スピリッツなどアルコール類である。寄港船舶数は年間約1,800隻である。入港最大船型は、全長200m、幅26m、喫水7.6mである。

係留施設は、最大 1 万5,000DWTまでのものが合計15あり、その内訳は、バルク貨物用が2バース、コンテナ用3バース、一般貨物用が10バースある。また、3,000DWTまでのタン

カー及びRo/Ro船用1バースがある。コンテナ貨物用バースは、もともと一般貨物用のバースをコンテナ対応に改良するもの(3バース:水深-8.4m)で、1993年にJICA調査団が入り、1996年にフェーズ1の工事を開始し、2000年には完了した。現在、新規バース整備(2バース:水深-9.5m)と航路整備のフェーズ2を開始するところであり、年末には入札を行う。なお、2000年実績で、コンテナ取扱量は22万TEUである。航路整備は、既存航路とは異なった新たな海へのルートを確認するもので、途中にトランシップ地点を設けて、大型船からバージへの沖荷役を行う予定で、ハロン湾からトランシップ地点までは、水深-12mが確保される。

2010年の取扱貨物量予測は、1,200~1,500万tである。さらに、中国・ヴィエトナム両国により、ハイフォン(Hai Phong)港が中国のトランシップ港として位置づけられたとの状況がある。このため、今後ハノイへの貨物輸送量の増加を国道5号線と内陸水運でどのように役割分担するのかの検討が必要である。

なお、バース等の配置図は、図4-11のとおりである。



出典：Fairplay Word Ports Guideより

図4-11 ハイフォン(Hai Phong)港の配置図

(2) ホンゲイ(Hon Gay)港

ホンゲイ(Hon Gay)港はトンキン湾に面し、ハイフォン(Hai Phong)港より35km、中国国境から60kmに位置している。取扱貨物は、一般貨物、バルク貨物及び液体貨物である。

係留施設は、全長200m、喫水8.5mまで対応可能で1バースあり、20tクレーン2基で荷役能力

は1,500～2,000t / 日である。また、7,200t / 日の取り扱いが可能なタンカーターミナルもある。

(3) カンファ (Campha) 港

カンファ (Campha) 港はホンゲイ (Hon Gay) 港の北東に位置し、港内な碇かかりが良く、入港船最大喫水は4.9mである。一般貨物及びバルク貨物を扱うバースは、延長299.6m、水深5.1m、この利用船の最大全長160.0m、最大喫水4.8mである。

(4) レモン (Le Mon) 港

レモン (Le Mon) 港はハイフォン (Hai Phong) 港の南西に位置し、一般貨物と穀物を扱う。入港船最大喫水は8 mである。係留施設は、バース 1 & 2 で延長100m、バース 3 & 4 で延長85m、いずれも水深 5 ～ 8 mである。合計で、12t及び6 tクレーンがそれぞれ3基ずつ、上屋面積は4,500m²、野積み場は面積 2 万m²である。

(5) ネティン (Nghe Tinh) 港

ネティン (Nghe Tinh) 港はハノイ市の南150マイルに位置し、ベンテウイ (Ben Thuy)、ラオカイ (Lao Cai)、キュアンハイ (Xuan Hai) の3つの港区に分かれている。それぞれの概要は以下のとおり。

1) ベンテウイ (Ben Thuy)

利用船最大喫水4.0mのバースが3バースある。上屋面積は3,000m²、野積み場面積は1万m²である。

2) ラオカイ (Lao Cai)

バース延長320m、利用船最大喫水5.0mが1バース。面積5,600m²の上屋が2つと野積み場面積は2万m²である。

3) キュアンハイ (Xuan Hai)

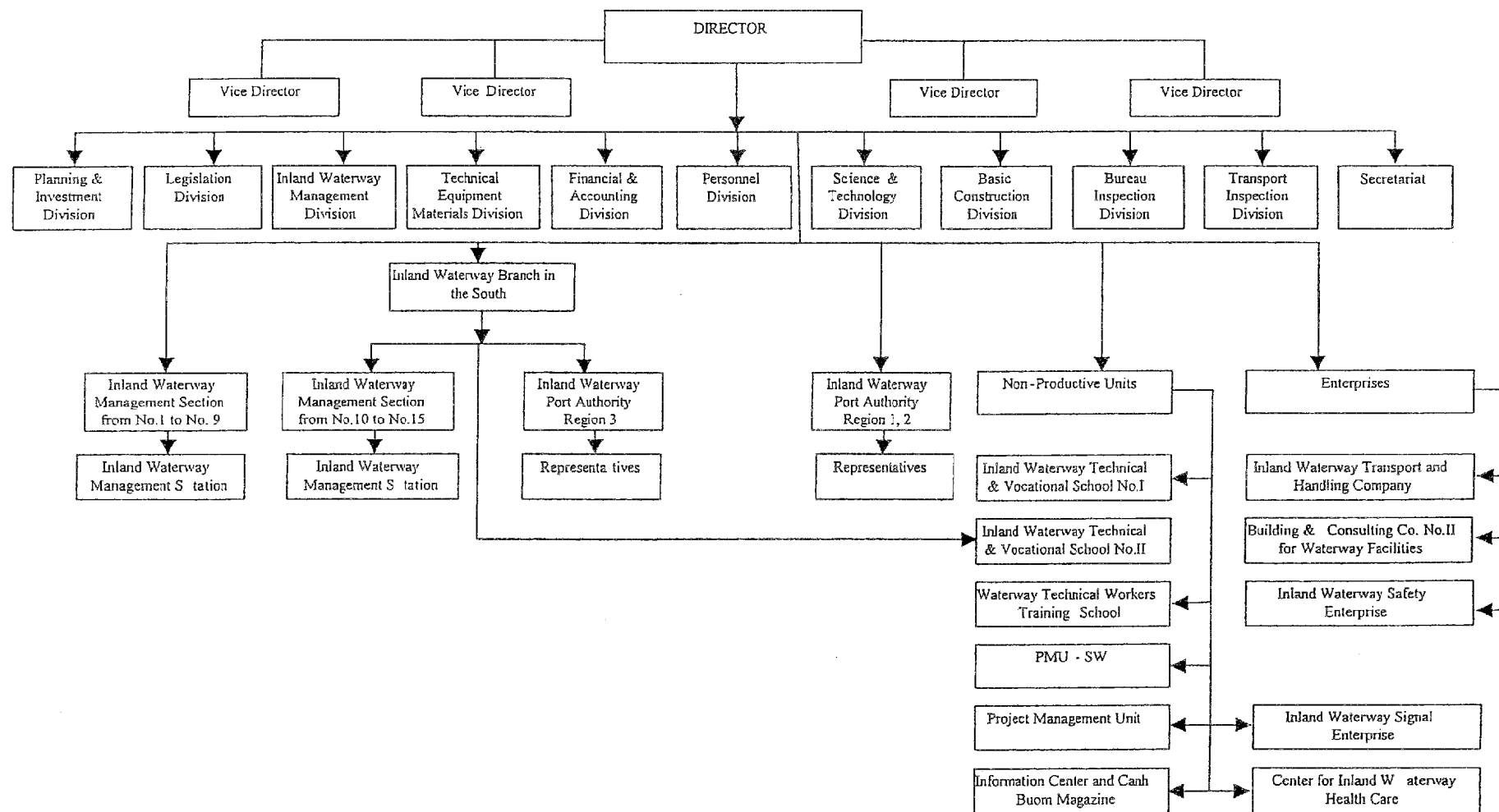
利用船最大喫水4.0mが1バース。上屋面積3,000m²、野積み場面積1万m²である。

4 - 5 内陸水運の運営行政組織の現況

紅河の内陸水運及び主要な港湾を所管するのは、MOTのVIWA(図4 - 12)である。一方、ハイフォン (Hai Phong) 港等の沿岸部に近い港湾のなかには、ヴィエトナム海事局 (Vietnam National Maritime Bureau : VINAMARINE、図4 - 13) が所管する港湾もある。

紅河デルタを含むヴィエトナム北部の国営港で、主に荷役・保管及びその施設を運営するNOWATRANCOの組織図を図4 - 14に示す。また、ハイフォン (Hai Phong) 港の運営は、VINALINE(図4 - 15)所管している。

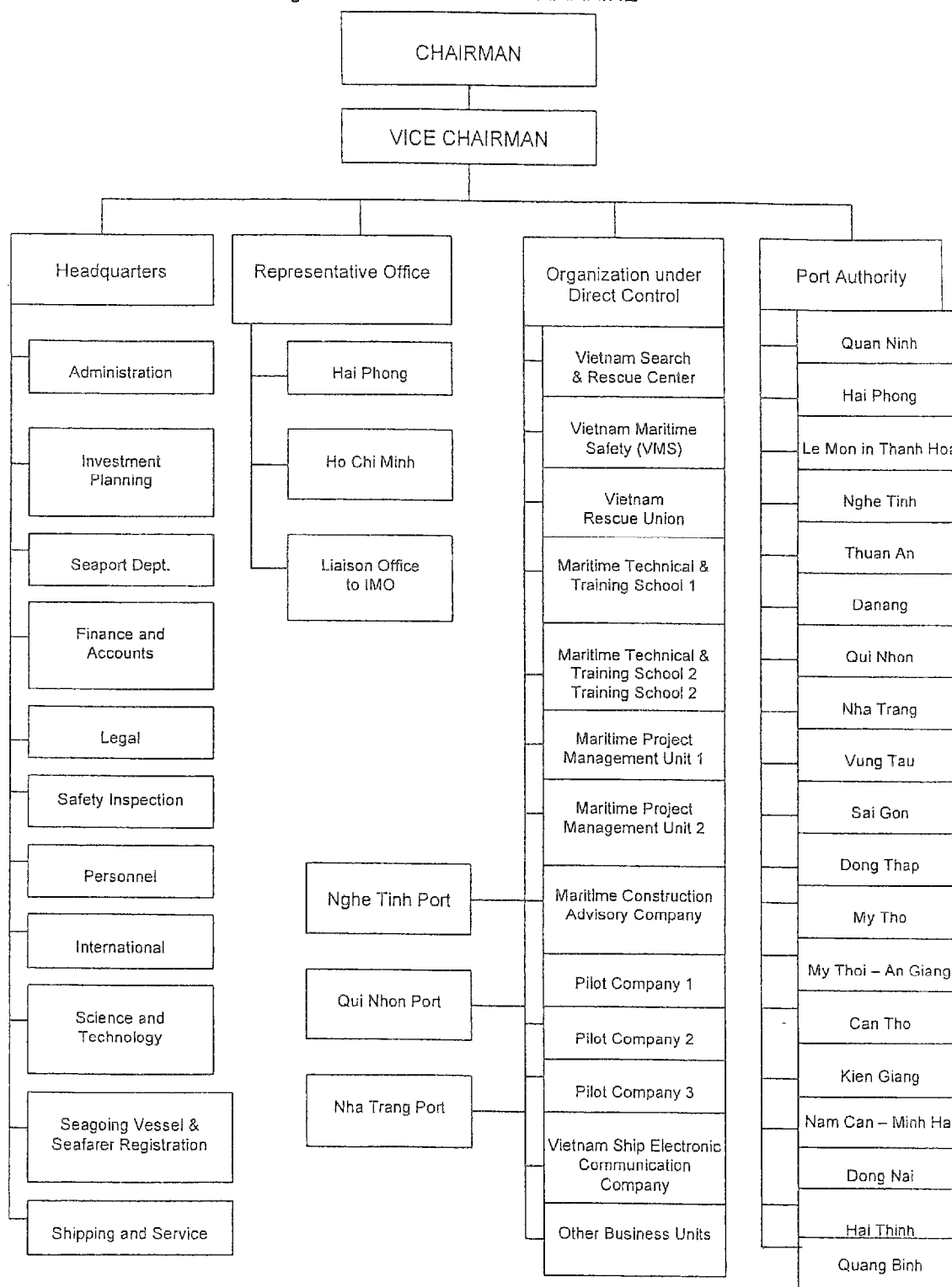
Organization Chart of VIWA



出典：VITRANSSより

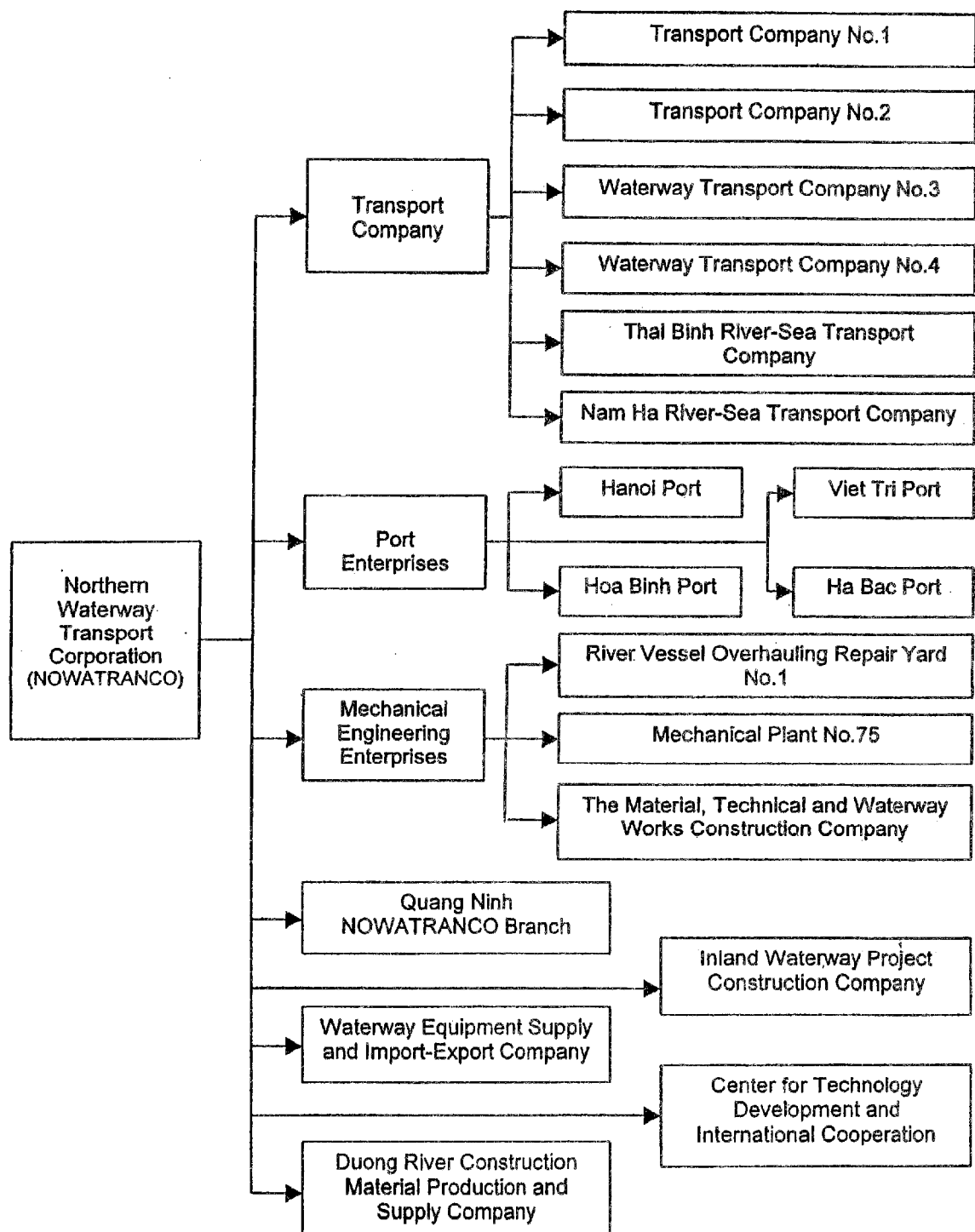
図 4 - 12 VIWA組織図

Organizational Chart of VINAMARINE



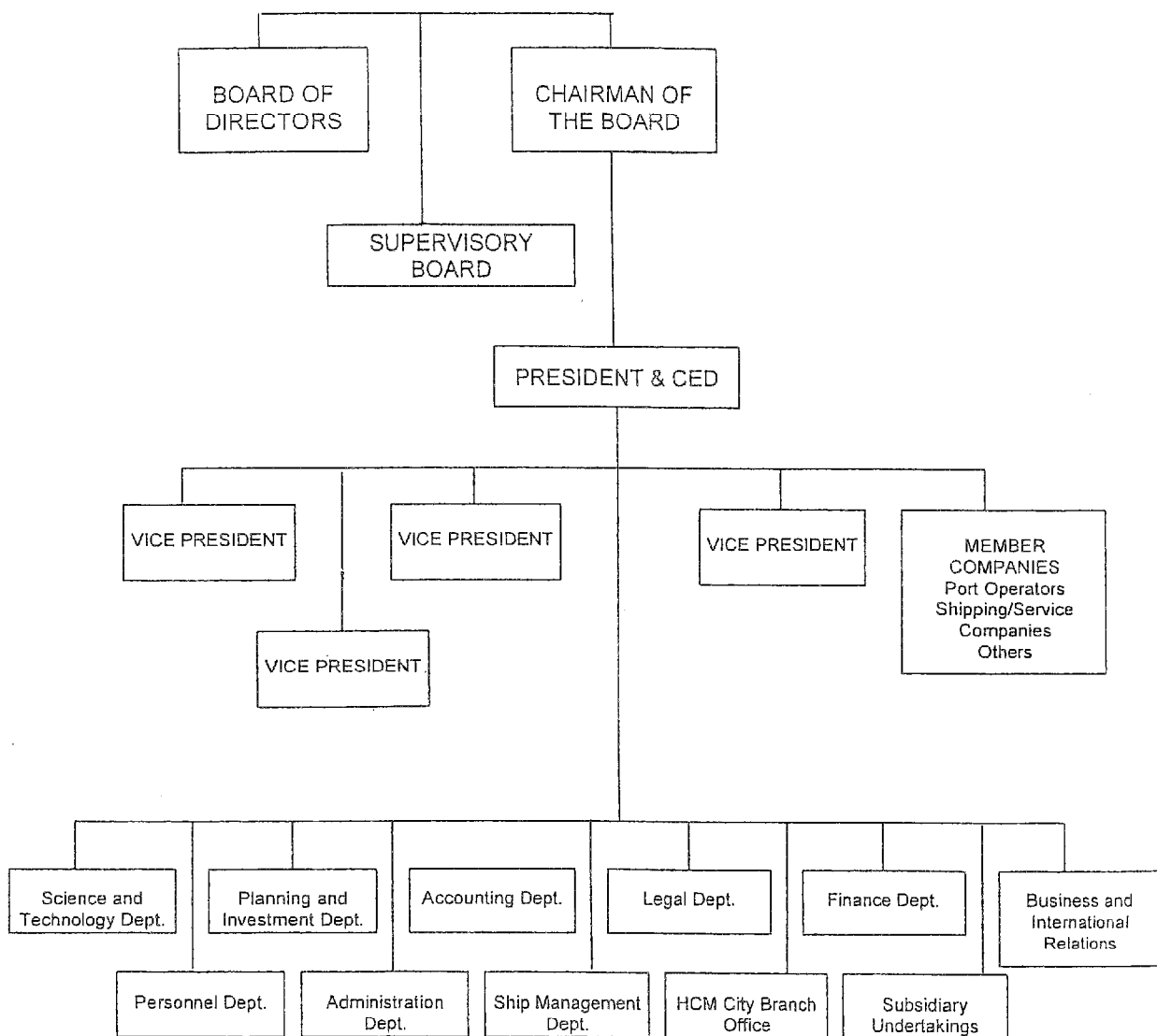
Source: VINAMARINE, September 1999

図 4 - 13 VINAMARINE組織図



出典：VITRANSSより

図4-14 NOWATRANCO組織図



Source: VINALINES

出典：VITRANSSより

図 4 - 15 VINALINE組織図